

令和4年度第1回小牧市立中学校制服検討委員会会議録

| | |
|--------|---|
| 1 開催日時 | 令和4年9月28日(水) 午後3時30分から |
| 2 開催場所 | 小牧市役所本庁舎404会議室 |
| 3 出席 | 堀田委員、山本委員、牧野委員、森川委員、田口委員、辻ノ上委員、櫻井委員、和泉委員、兼子委員 |
| 4 欠席 | 永井委員 |
| 5 事務局 | 中川教育長 石川教育部部長 伊藤教育部次長 安部学校教育課長 采女管理指導主事 山下学校教育課係長 小林学校教育課主査 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 議題 | (1) 制服見直しの経緯及びアンケートの実施について (2) 制服見直しにかかるスケジュールについて |

<開会 午後3時30分>

1 開会

事務局：山下係長)

皆様、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より、「第1回小牧市立中学校制服検討委員会」を開会いたします。私は、司会を務めさせていただきます。小牧市教育委員会学校教育課係長の山下です。よろしくお願いいたします。

資料確認

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

本日配布させていただきました資料は

- ・次第
- ・資料1 小牧市立中学校制服検討委員会委員名簿
- ・資料2 小牧市立中学校制服検討委員会設置要綱
- ・資料3 制服見直しに関するアンケート(案)
- ・資料4 小牧市制服検討にかかるスケジュール(案)
- ・座席表

でございます。不足などがございましたら、お申し出ください。

傍聴について

本委員会は、「小牧市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき開催するものでございます。そのため、個人が特定可能な議題などを除き、原則公開として開催させていただきますと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

本日この会議の傍聴者は0人です。

(1) あいさつ

事務局：山下係長)

開会にあたりまして、中川教育長よりごあいさつをいただきます。

中川教育長)

本日はお忙しい中、本委員会へご出席くださり、ありがとうございます。

また、日頃は小牧市の教育行政に多大なご理解・ご支援を頂き、ありがとうございます。

近隣市町の状況をみますと、既に新聞等で報道されておりますとおり、セーラー服・学生服から新しいデザインへ切り替える流れがございます。

小牧市におきましても、気候変動や価値観の変化へ対応する機能性を重視したものを検討するとして、この度本委員会を立ち上げましたが、実は教育委員会の中では、数年前から慎重に調査研究していました。

その過程において、児童生徒が主体となって彼らの意向を尊重する、保護者の皆様の考えを反映する、そういったスタンスで協議してまいりました。

そして昨年度は、生徒会に呼び掛けて意見集約をしていました。

その際、“夏の学生服は暑い・詰襟が苦しい、冬にセーラー服は襟もスカートも寒い”といった機能に関してなど、様々意見があがりました。

その上で、現状の見直しを一部の生徒会の意見でなく生徒全体の意見として進めることになりました。

制服は、3年間のみ着用するものでありますが、自身の学校の誇りや中学生としてのアイデンティティを守るものであります。

限られた時間ですが、児童生徒の意見を反映すべく協議に協力いただきたいと思います。

事務局：山下係長)

教育長、教育部長におかれましては他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

(2) 委員の紹介

事務局：山下係長)

次第に従いまして進めてまいりたいと思います。「委員紹介」であります。

委員の皆様におかれましては、ご多忙の中にもかかわらず、委員就任についてご快諾賜りまして、誠にありがとうございました。

本日は、初会合でありますので、委員の皆様より、自己紹介をお願いしたいと思います。お名前をお呼びしますので、一言ずつお願いします。

委員紹介

- ・小牧市 PTA 連絡協議会 堀田 幸弘 様

今年度市 P 連の代表であり、桃陵中学校の PTA 会長を務めています。自身に中学校 3 年生と 1 年生の子どもがいるので、子どもの意見も大切に聞きながら協議に協力したいと思います。

- ・小牧市 PTA 連絡協議会 山本 菜々美 様

今年度応時中学校の母親代表を務めています。自身の中学校 2 年生の子どもが生徒会を務めており、教育長挨拶にあった活動をしていたと思います。妹弟もあり家庭でも制服の話が出ますので、子どもとコミュニケーションをとりながら参加したいです。

- ・学校地域コーディネーター 牧野 かおる 様

今年度、小牧中の地域コーディネーターを務めており、昨年度市 P 連の会長を務めました。自身には高校生と中学生、小学生の子がおり、母親達のネットワークからの情報もお伝えし、協議に協力したいと思います。

- ・桃ヶ丘小学校長 森川 美千代 様

小学校長の代表として協力していきたいと思います。

- ・小牧西中学校長 田口 英樹 様

中学校長の代表として協力したいと思います。委員の皆様から“保護者としての意見”が聞けるのがありがたいと思います。

- ・応時中学校教頭 辻ノ上 実友希 様

市 P 連代表教員として母として協議に協力したいと思います。

- ・桃陵中学校教諭 櫻井 郁代 様

中学校では校則について、去年は頭髪、今年は防寒具や持ち物と、自主的・主体的に子どもが協議しています。そういった子どもの様子や声を届けたいと思います。

- ・一色小学校教諭 和泉 秀典 様

教員として現場の意見を届け協議に協力したいと思います。

- ・味岡中学校養護教諭 兼子 由紀代 様

養護教諭の立場から協力していきたいと思います。

なお、愛知文教大学 永井勝彦様につきましては、本日、所要によりご欠席とのご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

事務局紹介

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

- ・教育委員会 次長 伊藤

- ・学校教育課 課長 安部
- ・学校教育課 管理指導主事 采女
- ・学校教育課 係長 山下
- ・学校教育課 主査 小林

指導主事の高堀につきましては、本日、会議を欠席いたしますので、ご報告させていただきます。

(3) 会議の運営等について

事務局：山下係長)

会議の運営等について、担当よりご説明いたします。

事務局：小林主査)

恐れ入りますが、資料1の「小牧市立中学校制服検討委員会設置要綱」をご覧ください。

まずは、第1条 気候変動や社会の価値観の変化に対応し、機能性を重視した小牧市立中学校の制服を検討するため、この委員会を設置するものでございます。

第3条、組織等でございますが、この委員会は、児童生徒の保護者、地域住民の代表者、有識者、学校関係者の12人以内の委員で組織し、任期は2年でございます。

第4条、この会には委員長、副委員長を置き、委員の互選で定めるとしておりますので、後ほど委員の皆様にご審議をお願いします。

第5条、会議は委員長により招集され、議事につきましては、委員長に取り回しをお願いします。

以下につきましては、資料をお読み取りください。

事務局：山下係長)

会議の運営等について、事務局よりご説明申し上げましたが、ご質問があればお受けいたしますが、よろしいでしょうか。

(質疑無し)

2 委員長、副委員長選出について

事務局：山下係長)

続きまして、委員長と副委員長の選任をお願いしたいと思います。

先ほどもご説明申し上げましたが、委員長、副委員長の選任については、委員の互選により定めるとされております。

恐れ入りますが、委員の皆様より、立候補、あるいはご推薦をいただきたいと思います。存じますが、いかがでしょうか。

辻ノ上委員)

委員長は田口委員に、副委員長は森川委員をお願いしたいと思います。

事務局：山下係長)

今辻ノ上委員より委員長には田口委員、副委員長には森川委員という発言がありました。いかがでしょうか

(異議なし・拍手)

事務局：山下係長)

皆様のご異議もないということですので、委員長は田口委員に、副委員長は森川委員にお願いしたいと思います。

それでは、田口委員におかれましては、大変恐縮でございますが、委員長席へ移動願います。

(席移動)

それでは、改めまして、委員長にご就任いただきました、田口委員にごあいさつをいただきたいと存じます。田口委員長よろしく申し上げます。

委員長)

ただ今委員長にご承認いただきました田口です。不慣れではありますが、精いっぱい務めさせていただきますので、忌憚のない意見協議にご協力いただきたいと思います。

3 議題

(1) 制服の見直しの経緯及びアンケートの実施について

委員長)

それでは、議事(1)制服の見直しの経緯及びアンケートの実施について、事務局より説明を求めます。

事務局：安部課長)

最近では、気候の変化に伴う対応や、個人の価値観の多様性を尊重しようとする動きなどから、全国的に制服の見直しを検討する風潮が広まりつつあります。

近隣市町の中学校では、令和3年度より犬山市が、4年度より一宮市が制服の見直しを行い、5年度導入に向けて春日井市、瀬戸市、江南市、扶桑町が準備を進めています。

本市の市立中学校においては、長年にわたり詰襟学生服とセーラー服を制服としてまいりましたが、近隣市町の新制服導入の報道などもあり、本市でも、生徒や保護者から「寒暖差に対応しやすい制服」や「着脱のしやすい制服」を求める声が聞かれるようになってきました。

制服の見直しは、教育委員会や学校が主導で進めるのではなく、生徒や保護者の方々から見直しの声が多く聞かれるようになってきたところで、議論していくことが望ましいと考えておりましたので、この度、制服の見直しの検討を進めるため、当委員会を立ち上げた次第です。

制服見直しをいろいろな場でうかがうものの、具体的に、生徒や保護者の皆さんが、制服に対して、どのように考えていらっしゃるのか、今まで把握する機会がありませんでした。

そこで、生徒や保護者にアンケートを実施し、その結果を見た上で、まずは、制服見直しにおける今後の方向性について、この委員会でご検討いただきたいと考えております。

では、アンケートについてご説明します。

事務局にて、アンケート案を作成しましたので、資料3「制服見直しに関するアンケート」をご覧ください。これは、アンケートを実施する際に保護者あてに配布する通知文の案です。

まず、アンケートの対象者についてですが、“市内中学校に在籍する中学生全員”・“中学生の保護者”・“小学校5年生及び6年生の保護者”・“中学校に勤務する教員”を対象者として考えております。

アンケートは、アンケートフォームを利用して実施します。中学生は学校で使用しているタブレットにより回答、保護者と教員の皆様につきましては、普段お使いのスマートフォンやパソコン等から簡単に回答していただけるよう、通知文にQRコードやURLを記載します。

アンケートの内容について、資料3の裏面をご覧ください。

“現在の制服の「よいと思うところ」「不便なところ・改善を望むところ」”・“新しい制服を導入する場合、重要な要素と考える点”・“新しい制服に期待すること”等を、設問としてあげました。

制服の着心地や、現在の制服に対する改善点を把握することは、今後、制服を見直す場合に、重要な要素になりますので、これらのことが把握できるアンケート内容としました。

また、制服に対する生の声を把握するために、実際に制服を着ている中学生、その保護者と日頃から中学生に関わる中学校の教員、そして、新しい制服を導入する場合に、新制服を着用することとなる小学生の保護者を、アンケート対象者としております。

制服見直しの経緯及びアンケートの実施についての説明は以上となりますが、皆様に議題を検討していただくにあたり、新しい制服を導入することになった場合の、現時点での事務局の考え方を、先にお伝えしておきたいと思っております。

新しい制服を導入することとなった場合、事務局としましては、

- ①保護者負担の面も考慮し、兄弟の使った制服を使いたいという要望にも対応できるよう、現在の制服に、新しい制服を加える形で導入することを考えています。
- ②制服のコストをできるだけ抑えるという観点から、市内9中学校統一の制服とすることを考えています。

学校別にカラーを出したいという要望がある場合は、リボンやネクタイ等を別にすることで、対応することを考えています。

これは、あくまでも事務局の考えですので、今後の検討の中で、変更もあると思

ますが、今回の資料につきましては、この考えをもとに作成しておりますので、よろしくお願ひいたします。

説明は、以上です。

委員長)

事務局からの説明がありました。

制服の見直しの経緯及びアンケートの実施について、ご意見・ご質問はございますか。

森川委員)

アンケートの項目について、3番の「現在の制服」とは、“制服の制度そのもの”のことでしょうか、住所による指定・進学予定中学校の制服のことでしょうか、どちらでしょうか。

事務局：安部課長)

“制服制度そのもの”の制服全般として回答いただきたいと思っています。

森川委員)

小学生の保護者で、指定・進学予定中学校の制服のデザインを知らなくても回答できるということで承知しました。

事務局：采女管理指導主事)

事務局で検討をする中で、「実際将来着ることになる子どもたちの意見も欲しい」という考えになりました。

しかしながら、着用していない小学生の子ども自身には回答が難しいとして、その小学生の保護者に、基本は制服そのものと考えていますが、将来の指定学校の制服をイメージしてもよいし、保護者自身の経験も含めて、答えて頂きたいと思ひます。

森川委員)

コロナの影響もあり、今制服を着ている子をほとんど見ません。

5年生6年生の保護者がどれぐらいイメージできるのか気にかかったので質問しました。

委員長)

少し時間をとるので、アンケート内容に今一度目を通して欲しいと思ひます。

その他意見や質問はありますか。

櫻井委員)

4番に「その他」が無いのは何故でしょうか。“ベルトの着脱がしにくい”、“チャックボタンの着脱がしにくい”など「その他」の意見もあると思ひます。

事務局：安部課長)

ご意見のとおり、4番に「その他」をつけると幅が広がると思ひますので、「その他」を項目に加えたいと思ひます。

堀田委員)

保護者がアンケート入力をする場合、無記名では一人で何回も入力できるのではないのでしょうか。

事務局：安部課長)

機能として一人一回しか回答できないような制限がかかるものではございません。

保護者宛てのアンケート依頼文の一枚目「対象」の注意書きのとおり、一人一回の回答を“お願い”するとして進めたいと思います。

委員長)

アンケートにおける質問・意見も出尽くしたようですので、アンケートについては、実施の方向でよろしいですか。

(異議なし)

(2) 制服見直しにかかるスケジュールについて

委員長)

それでは、議事(2) 制服見直しにかかるスケジュールについて、事務局より説明を求めます。

事務局：安部課長)

それでは、制服見直しにかかるスケジュールについて、説明いたします。資料4をご覧ください。

今の段階から検討を始め、新制服を導入する場合、令和6年4月の導入が最短となります。この資料は、その場合のスケジュールを示しています。あくまでも案ですので、若干、スケジュールが前後することも想定されますし、検討の内容が長引くような場合は、令和7年4月の導入になる可能性もありますので、その点ご承知おき下さい。

まずは、先ほど、ご検討いただきましたアンケートを、10月5日から10月17日の期間で実施いたします。

アンケート終了後、早急に結果を取りまとめ、第2回検討委員会において、アンケートの結果報告を行い、委員会において、制服見直しの方向性を決定いただくことを考えております。11月下旬から12月初旬になる見込みです。

制服の見直しを実施する場合、制服メーカーに参加いただき、コンペを実施いたします。12月には、コンペ参加事業者を公募し、1月から2月頃、第3回検討委員会において、コンペを開催します。委員の皆様には、審査員として、参加事業者から提出された書類、制服製品見本、プレゼンテーション等により、制服デザインを3点程度、選定していただきたいと思います。

なお、コンペでは、ブレザーやズボン、スカートといった外側に着るもののデザインを対象に選定します。

内側に着るシャツやブラウスなどは、コンペではなく、後日、学校ごとに検討いただく予定です。

コンペで選定された3点程度の制服デザインから、最終1点に絞るのは、児童生徒、保護者、中学教員等の投票により決定したいと考えております。

コンペで選定された3点程度の制服デザインは、市ホームページ等にて周知するだ

けではなく、各小中学校や市内公共施設に展示することで、制服製品見本を実際に見ていただいた上で、投票できるようにしたいと考えています。投票は、2月頃を予定し、3月には、制服デザイン決定の予定です。

また、学校ごとに異なるネクタイやリボンを採用する場合、5月から7月頃には決定し、中に着るシャツやブラウス等についても、合わせて、この時期には方向性を出していただくこととなります。

なお、制服取り扱いの販売店等への周知ですが、第2回の当委員会で見直しとなった場合、まず、周知を行い、その後は、随時、情報提供していく予定です。

また、保護者につきましても、通知やホームページ等により、制服の検討状況をこまめに周知してまいります。

説明は以上です。

委員長)

事務局からの説明がありました。

制服見直しのスケジュールについて、何かご意見・ご質問はございますか。

和泉委員)

現在の制服に新しい制服を取り入れるという話ですが、将来的に現在の制服を廃止するような予定はありますか。

事務局：安部課長)

現在の事務局の案としては、現在の制服も残しつつ新しい制服を導入する予定です。現在の兄弟の制服を活用する予定がある家庭や、詰襟学生服やセーラー服の着用を希望する家庭にも対応したいと思います。

堀田委員)

デザインは最終的に複数出すのでしょうか、1種類出すのでしょうか。

事務局：安部課長)

コンペでは、3種類のデザインを決定していただく予定です。3種類から児童生徒保護者の投票により最終的には1種類になります。

辻ノ上委員)

男女共通のデザインが1種類できるということでしょうか。

事務局：安部課長)

基本的には男女1組で1種類と考えています。

しかし、コンペによって女の子もズボンが履けるような、ユニセックスの提案があり、投票によりそれが採用されれば、共通デザインということもあり得ます。

森川委員)

新しい制服導入後もセーラー服を発注できるとしての新旧混在でしょうか。セーラー服は業者が作らなくなるということは無いでしょうか。

事務局：安部課長)

業者が“ニーズが無い”として作らなくなる可能性はありますが、市から作成中止をするものではございません。

事務局：采女管理指導主事)

市として一定部分は決めますが、各校で独自の、体操服の活用やハイソックスの可否などのルールがあるように、新しい制服に関しても、同じように学校独自で決めていく部分はあると考えています。

“メンズ・レディース・ユニセックス”で種類なのか、“ユニセックス”で種類とするのかは、アンケートの結果を分析してこの会で協議し、それをコンペに反映して決定していくことになります。

櫻井委員)

会議が始まるまでは「制服は見直しをする」と思っていたが、説明を聞くとそうではないようです。

もし、「見直しの要・不要」を含めて検討するなら、このアンケート項目案では読み取れないのではないのでしょうか。

事務局：采女管理指導主事)

保護者や子どもたちの声を聞いて、事務局としては、「見直しを視野に入れていく」としています。

しかしながら、アンケート4の「特にない」があまりに多かった場合、この会で「見直しの要・不要」をはかる必要があると考えています。

山本委員)

保護者の立場としては、アンケートは分かりやすく答えやすいほうが良いです。

アンケート項目としてまず第1問に、「見直しの要・不要」を問う項目があったほうが分かりやすいと思います。

事務局：安部課長)

その点について他の委員の皆様の意見も伺いたいと思います。

山本委員)

私も、「変更ありき」ではないならば、その部分を意思表示をする設問が必要だと考えます。

辻ノ上委員)

見直しの声は高まっている風潮はありますが、もしかしたら小牧市民にはそのニーズが無いかもしれません。最初にそのニーズを聞く山本委員の意見に賛成します。

正直、子どもたちは変えたいと思っていますが、保護者からしたら、「新しい制服が欲しい」と言われても買えない家庭もあるので、見直さなくてもよいという意見が多く出る可能性は無いわけではないと思います。

委員長)

確かに、先ほど“市内9校統一の制服として導入すれば購入コストは下がる見込み”と説明があったが、“見込み”であるので、アンケート回答時点で保護者にそれをお伝えして回答頂くのは難しいと思います。

森川委員)

アンケートを「見直しの要・不要」を問うのと、中身を聞くのと二段階にすること

も考えられると思いますが、どうでしょうか。

山本委員)

良い設問なので、見直しが不要だと思う人も、その他の項目を回答すべきと思いますが、見直しが不要の人は、第1問の要不要の回答でアンケートを終えても仕方ないとも思います。

辻ノ上委員)

設問を第1問の「要・不要」でその後設問が続くか続かないか、分岐させることもできると思います。

山本委員)

6番の項目は、「見直しが不要」だと考える人も答えればよいと思っています。

事務局：安部課長)

2番の後に、見直しの要不要を問う設問を入れたいと思います。

委員長)

その他に意見はありますか。

(質疑又は意見なし)

質問・意見も出尽くしたようですので、提示された方向で進めてよろしいでしょうか。

(異議なし)

4 その他

委員長)

それでは、4 その他 ということで、事務局お願いします。

事務局：小林主査)

次回、第2回の当委員会の開催についてご連絡申し上げます。

今回は、11月下旬から12月初旬に開催を予定しております。開催日が決定したところでご連絡差し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

委員長)

次に委員の皆様から、何かございましたらお願いします。

せっかくの機会ですので、遠慮なく意見ををお願いします。

堀田委員)

会議によって「見直しの要・不要」を問う意見を取り入れられたのは良かったと思います。

兼子委員)

多様な考えがあり、近年はトランスジェンダーの問題も大切な視点となっています。

大多数がアンケートの結果、「見直しの必要がない」となったとしても、少数派の意見も無視されない、自分が自認する性の制服をまとして気持ちよく暮らせるようにしてほしいと思います。

山本委員)

少数派の意見も大切にできるとよいと思います。

委員長)

その他ご意見等ありますか。ないようですので、事務局にお返しします。

事務局：山下係長)

委員の皆様、議事進行にご協力くださり、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第1回小牧市立中学校制服検討委員会を閉会いたします。

<終了>